

2024年12月2日

東急不動産株式会社
ニセコ東急リゾート株式会社
東急リゾーツ&ステイ株式会社

～「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第5弾～ 国際的マウンテンリゾートの体験価値向上へ100億円超規模投資

新ゴンドラ「エースゴンドラ」運行開始 エースゴンドラ山頂駅舎2階に新レストラン開業 エース第3リフトを4人乗りフード付きリフトへリニューアル

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明）、ニセコ東急リゾート株式会社（本社：北海道虻田郡、代表取締役社長：平子 雄一）、東急リゾーツ&ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰）は、「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第5弾の取り組みとして、ニセコ東急 グラン・ヒラフにおいて、2024年11月30日に新ゴンドラ「エースゴンドラ」の運行開始、2025-2026シーズンに新「エースゴンドラ」の山頂駅舎2階に新レストランをオープンし、また2026-2027シーズンにエース第3リフトを4人乗りフード付きリフトに更新いたしますのでお知らせいたします。ニセコ東急 グラン・ヒラフでは新「エースゴンドラ」の運行開始を皮切りに、100億円超規模で投資を行い、国際的マウンテンリゾートとして更なる利便性向上・輸送力向上・来場者の体験価値向上を目指してまいります。



エースゴンドラ山麓駅舎



エースゴンドラ

■新ゴンドラ「エースゴンドラ」、2024年11月30日デビュー

長年愛されてきた日本最古のクワッドリフト通称「センターフォー」が、新ゴンドラ「エースゴンドラ」に生まれ変わり2024年11月30日に開業いたします。エースゴンドラはキャビン内にスキー板の持ち込みが可能な10人乗りの最新鋭モデルで、全キャビン内にシートヒーター、Wi-Fiが完備されており、寒さを緩和した快適な乗車時間をご提供します。センターフォーと比べ輸送力が1時間あたり約1.5倍に向上することにより混雑緩和が見込まれます。また、ゴンドラ搬器内及び山麓・山頂ゴンドラ乗り場の一部床面には「PIS・LAB」を採用いたします。「PIS・LAB」によりチェアスキーヤーはギアの着脱や介助者なしでゴンドラ乗車が可能となり、ゴンドラ乗車の際の負荷が少なく安心してご乗車いただくことができます。尚、エースゴンドラの運行開始に伴い、「ひらふゴンドラ」を「キングゴンドラ」へ名称変更いたします。

■2025-2026 シーズン、新レストランオープン

2025-2026 シーズンにエースゴンドラ山頂駅舎 2 階にオープンいたします新レストランは、羊蹄山を正面から望むゲレンデ内でも特に眺望に優れる場所で、標高 813m の高さに位置します。新レストランでは羊蹄山に飛び込むような絶景テラスの設置をはじめ、ライブ感のあるオープンキッチンやアプレ・カフェタイムが楽しめるアイランドバーカウンター、昨シーズンに営業終了致しました「センターフォー」のチェアを再利用した座席シートの設置など、来場者にマウンテンリゾートを満喫いただけるコンテンツを計画推進中です。また内外装には再生材等の環境に配慮した建材の使用を予定しております。ニセコの大自然を直近に感じながら、ひと時の間、羽を休める大自然の巣として、プレミアムな食事と極上のくつろぎ時間を提供いたします。



新レストラン（イメージ）

■2026-2027 シーズン、エース第 3 リフトリニューアル

ニセコ東急 グラン・ヒラフでは、世界各国から「JAPOW（Japan+Powder+Snow の造語）」を求めたお客様が増加し中腹でのリフト待ちが目立っていたこと、またキングゴンドラからの流入動線を見直したことにより、2016 年にキング第 3 リフトを 4 人乗りの高速リフトに更新いたしました。しかしながら、2023 年～2024 年シーズンは過去最多となる来場者数を記録するなど、来場者は年々増加傾向にあるほか、今シーズンより新たに開業する 10 人乗り「エースゴンドラ」により、一層中腹への来場者が増加するものと見込んでおります。さらなる輸送力の強化として、エース第 3 リフトを 4 人乗りフード付きリフトへ更新し、輸送力を現在の 2 倍に向上させることで、ゲレンデ中腹の混雑緩和・お客様の満足度向上を図ります。また本計画においては、2024 年 8 月に Value up NISEKO 2030 第 3 弾で発表いたしました、キング第 3 クワッドリフトの架け替えにおいて取り外される搬器・電気設備等を再利用し、環境負荷の低減を図ってまいります。



エース第 3 リフト（現在）



現行のキング第 3 リフト

■マウンテンセンター2階レストランを「sanshoku」へリニューアル

キングエリア マウンテンセンター2階のレストラン・カフェ「Tanta・an」が、レストラン・バー「sanshoku」としてリニューアルオープンいたします。麓から見える広大なゲレンデと、羊蹄山の眺望を楽しみながら、モーニング、ランチ、アプ्रेसキーの全ての時間帯で食事や飲み物を堪能いただけます。時間によって移り変わる来場者のニーズに合わせ、マウンテンリゾートの入り口にふさわしいフレキシブルな空間とサービスを提供いたします。なお、2024-2025 冬シーズンはプレオープンとして営業し、フルリニューアルは2025 夏シーズンを予定しております。



レストラン・バー「sanshoku」(イメージ)



メニュー(イメージ)

■2025-2026 シーズン、キング第3リフトを6人乗りチェアリフトへリニューアル

2025-2026 シーズンにリニューアルを予定するキング第3リフトは、4人乗りから6人乗りのフード付きチェアリフトに生まれ変わり、ニセコ東急 グラン・ヒラフのチェアリフトで初めてシートヒーター付きの座面となります。輸送力を現行から1時間あたり600名増員することにより混雑緩和が見込まれます。また、リフト乗り場の床面にはローディングカーペットを採用いたします。リフト乗り場の床がコンベヤーのようにゆっくり動き、乗車タイミングを補助することで、小さなお子様や初心者も安心してご乗車いただけるようになります。

■ゴンドラ、リフト架け替え変遷



エースゴンドラ
(2024-2025 シーズン)



キング第3リフト(イメージ)
(2025-2026 シーズン予定)



エース第3リフト
(2026-2027 シーズン予定)

■「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」施設概要

「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」は、22のバリエーション豊かなコースを持ち、日本百名山にも数えられる羊蹄山を眼前に望みながら滑走が楽しめるスキー場です。その豊富な雪量とパウダー・スノーと呼ばれる雪質は、国内外問わず多くのスキーヤー・スノーボーダーを魅了しています。

<https://www.grand-hirafu.jp/>



ゲレンデから羊蹄山を望む

2024-2025 ウィンターシーズン

営業期間：2024年11月30日（土）オープン予定 ～ 2025年3月31日（月）

※来春より「キング第3リフト」の工事着工を予定しているため、

2024-2025 ウィンターシーズンの営業につきましては2025年3月31日（月）までといたします。

営業時間：8：30～16：30 ※ナイター期間は19：00まで

（ナイター期間 2024年12月14日（土）～2025年3月23日（日））

所在地：〒044-0080 倶知安町ニセコひらふ1条2丁目9番1号

交通：車|札幌より国道230号線経由で約2時間10分

新千歳空港より国道276号線経由で約2時間10分

鉄道|札幌駅～倶知安駅（小樽経由）、倶知安駅よりタクシー又はバスにて約20分

主要施設：ゲレンデ [標高]260m～1,200m [標高差]940m [コース数]22 [面積]135.3ha

[最長滑走距離]約5,300m [最大斜度]40° [平均斜度]15°

[構成]初級45% 中級28% 上級27%

リフト・ゴンドラ [ゴンドラ]2本 [クワッド]2本 [ペア]4本 [シングル]1本

■東急不動産が進める「Value up NISEKO 2030」について

2030年に向け持続可能な発展を目指すリゾート、選ばれ続けるデスティネーションとして、世界に通用する「NISEKO」ブランドを行政・地元企業・地域の方々と連携して、課題解決やエリアの活性化を企図したまちづくりプロジェクトです。2022年10月に北海道倶知安町と「スキーの町宣言50周年を契機とするオールシーズン型国際リゾートの形成に関する包括連携協定」を締結し、スマートリゾート推進のほか、スキー場の索道更新などのハード面整備だけでなく、オールシーズン化に向けた施策などソフト面の取組みも地域連携を強化して取り組んで参ります。ソフト面の取組みとして、グリーンシーズン活性化に向けた取組みの他、「ファーストトラック」の権利を付した国内初のスキーNFT「Niseko Powder Token2.0」の実証実験や積雪を利用した発電事業の社会実装実験、スキーバレーサービスの試験運用を実施しました。ニセコ東急 グラン・ヒラフは、「アジアNo.1の国際的リゾート」の実現を目指し、来場者の体験価値向上に向け、今後も複数の取組みを推進してまいります。なおこれまでお知らせしてまいりました Value up NISEKO 2030 プロジェクトについては、下記をご参照ください。

【Value up NISEKO 2030】

第1弾：ニセコユニテッドで最も輸送実績のあるリフトを最新型ゴンドラへ

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2022/000782.html>

第2弾：ニセコ No.1 立地にホテルコンドミニアム誕生、「ホテルニセコアルペン」を建替え

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2023/000818.html>

第3弾：キング第3リフトを6人乗りチェアリフトへリニューアル

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2024/001255.html>

第4弾：「星のやヒュッテニセコ（仮称）」開発に参画、新築着工

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2024/001285.html>